

# 多度津町 若手職員ワーキング、懇談会 第6回 まねきねこ課 会議報告書

- ◆日時 平成28年12月19日（月） 18:00～20:00
- ◆場所 多度津町役場
- ◆内容 第4回会議振り返り  
Webサイトについて  
ロゴマークについて  
プロジェクトの検討

- ◆プログラム
  1. 開会
  2. これまでの会議の振り返り
  3. Webサイトについて
  4. ロゴマークについて
  5. 若手職員ワーキング結果の報告
  6. プロジェクトの追記事項の検討

平成28年12月22日

■参加団体・若手町職員一覧

	所属	参加人数	合計
懇談会	つながりプロジェクト	2	10名
	おいでまい町屋プロジェクト	2	
	たどつまち歩きの会	1	
	多度津さくら工房	2	
	多度津町観光協会	0	
	多度津商工会議所青年部	0	
	多度津町教育委員会	1	
	四国旅客鉄道株式会社多度津駅	1	
	金剛禅総本山少林寺	0	
	ナスタウン出版株式会社	0	
	株式会社 tao	0	
	中讃ケーブルビジョン株式会社	1	
若手町職員ワーキンググループ	政策企画課	3	17名
	産業課	1	
	総務課	2	
	教育課	3	
	町長公室	2	
	住民課	1	
	税務課	1	
	福祉保健課	1	
	建設課	1	
	環境課	1	
	上下水道課	1	

\* 順不同

## 第4回 会議の実施内容

### (1) 会議概略

#### ■全体の流れ

次 第	役割	実 施 項 目
挨拶・開始あいさつ 18:00～18:05	事務局 JP 総研	・最初ご挨拶 ・配布資料の確認(当日の流れ、Web資料、ロゴ、プロジェクトシート、プロジェクト一覧)
資料説明 当日及び今後の進行説明 18:05～18:35	JP 総研	・これまでの振り返り ・検討内容についてご説明 ・本日の流れについて
検討内容① 18:35～19:10	JP総研	・Webサイトについて →提示案について意見を募る
検討内容② 19:10～19:45	JP総研	・まねきねこ課のアイデアについて →ワーキンググループで具体化した内容を説明 ・プロジェクトの意見出し →説明をうけて意見出し
まとめ 19:45～20:00	JP総研 事務局	・次回の実施について説明

#### ■会議の目的

- これまでの会議の振り返り
- Webサイトについて
- ロゴマークについて
- プロジェクトの検討

【説明の様子】



## (2) グループワークの手法

### ■全員による協議

Webサイト、ロゴマークについては、全員協議で意見出しをした。

#### <話し合いテーマ>

- Webサイト
- ロゴマーク



### ■プロジェクトごとで話し合い

若手職員ワーキング内容をそれぞれ、懇話会メンバーに説明いただき、プロジェクトについてさらに意見出しをした。



【当日の様子】

## 第4回 会議まとめ

### (1) これまでの振り返り（講義形式）

これまで実施した会議に内容を第1回目から振り返り、再度、タウンプロモーションについての必要性を確認した。

また、これまでの話し合いをしてきたことにより形となってきていることを共有した。



プロモーション  
多度津町のいい

### 第1回目 初顔合わせ

第1回目会議様子



### (2) Webサイト、ロゴマークについて

若手職員ワーキングで話し合った内容を反映した上で、Webサイトの構成やデザインについて、説明し、意見を求めた。

意見は、多度津町ニュースを発信できる項目を設けることや、ケーブルテレビで取り上げた多度津町に関する情報番組をサイト上で閲覧できるようにすることはどうかなど意見がでた。

ロゴマークについては、何種類かの案をもとに多数決で意見を聞き、賛成の多かったロゴマークをブラッシュアップすることになった。

### (3) 事業ごとに分かれてグループワーク

若手職員ワーキンググループで話し合った内容を説明し、それぞれのプロジェクトごとに分かれて話し合いをした。

話し合いは、若手職員ワーキンググループで話し合った内容をそれぞれの担当職員が懇話会メンバーに説明し、プロジェクトへ追記した。



【説明の様子】



【説明の様子】



## 第4回会議 総括

---

### (1) Webサイト・ロゴマークについて

若手職員ワーキンググループでの話し合いでも出たように、佐柳島のとび猫からくる猫モチーフが多くデザインに反映されていることから、「多度津町と言えば猫」といったイメージが定着してしまうため、猫が多くなり過ぎないように配慮が必要となる。

ロゴマークに関しても同様で、今後の展開も含めたロゴマークのブラッシュアップが必要となる。

### (3) プロジェクトについて

実現性や戦略期間中に実施できるかどうかを踏まえた上で、プロジェクトを精査により、2つのプロジェクトについて方向性を変更することになった。計画として掲載を考慮し、再度プロジェクト内容の検討から入り、新たなプロジェクトを考案いただいた。

今後は、内容等の精査を続け、実行できるための取り組みが必要となる。



【説明の様子】



【説明の様子】